

「スポーツ鬼ごっこ観戦のポイント」の作成と公開について

(つくばLIGAREリバティクラス) 梶谷勇

スポーツ鬼ごっこ・観戦・ガイドライン

■研究背景

スポーツ鬼ごっこは新しいスポーツであるとともに、既存のスポーツとは異なる面があるために、観戦者が容易に理解し、楽しむことができない場合がある。当団体においても、チームの立ち上げ期には保護者も一緒にプレーする機会が多かったためにスポーツ鬼ごっこを理解することができ、観戦することも楽しむことができていた。しかしながら、徐々にプレーしない保護者が増える状況になり、試合中だけでなく、練習を見ている時でさえ、スポーツ鬼ごっこを楽しめていないことが危惧された。そこで、スポーツ鬼ごっこをプレーしない人向けの観戦ガイドラインのようなものが必要であると考え「スポーツ鬼ごっこ観戦のポイント」を作成し、オンラインで共有し始めた。

■方法

クラスの練習メニューの整理と共有にオンライン情報共有ツール「Scrapbox」を用いていたため、「スポーツ鬼ごっこ観戦のポイント」でも同じツールを用いることとした。「Scrapbox」は断片的な情報を構造化して公開し、共有することができるツールである。

コンテンツの作成にはデザイン思考の考え方をを用い、観戦が楽しめない人との共感ポイントを見つけるところからスタートした。すなわち、観戦中に何が起こったのかがわからず「迷子」のようになるポイントを見つけ、そこに共感を示し、ともに理解を進める形式で観戦者を導くことを企図した。

オンラインで公開し、不定期に内容を更新しているため、以下では、原稿執筆時点での公開内容に基づいて、その内容を説明する。

(公開URL: <https://scrapbox.io/watchingsportstag/Index>)

■観戦の難しさへの共感

観戦者が「迷子」のようになる原因として、試合中にどこを中心に見ればいいのかかわからないことが考えられた。その原因として、(1)ボールがないこと、(2)得点ポイントが2か所あること、(3)あちこちで何かが起きていることに着目した。すなわち、球技であればボールを中心に見ればいいが、スポーツ鬼ごっこではボールがないために、どこに注目すればいいのかかわかりにくい。また、得点ポイントが2か所あり、片側だけ見ていると反対側で得点していたり、両方で同時に得点することがある。さらに、7人対7人のゲームであれば、7か所以上で何か起きる可能性がある。観戦のポイントでは、これらの点を整理することで観戦の難しさへの共感を示した。

■観戦ポイントの抽出

観戦の難しさへの共感ポイントから、観戦ポイントの整理を試みた。具体的には初級編、中級編、上級編にわけ、初級編では見るポイントを限定し、好きな選手やチームに注目して観戦を楽しむ方法を、中級編ではわかりやすい特徴的なプレーとしてタッチアンドゴーやクロスプレーと呼ばれるプレーに着目する方法を紹介した。上級編では魅力的なプレー等に注目することを提案し、例えば、タッチアンドゴーへの逆襲や、試合中の子供の成長に着目することで、観戦を楽しめることを述べた。さらに追加でマニアック編を準備し、プレー以外に楽しめるポイントとして、道具の工夫や応援を楽しむだけでなく、観戦席のちびっこの動きを楽しむ方法を紹介した。

■観戦しててわかりにくいルール解説

スポーツ鬼ごっこのルールの中には、ルールを知らない人が観戦する際に困惑するポイントがいくつかある。ここではその解説を行った。具体的には、宝をとったのに得点にならないケース、宝をとってないのに得点になるケース、ブルーカードについて解説した。また、観戦者が審判の判定に疑問を持った際の考え方についてもふれた。

■戦術やルールの解説

スポーツ鬼ごっこの観戦を楽しむには、基本的な戦術についての知識があった方がいいと考え、「知っててうれしい戦術編」として、数的優位、質的優位、空間的優位についての私見を整理した。また、ルールを知らないと楽しめないと考え、公式ルールへのリンクをはるとともに、基本的なルールについても解説を加えた。

■試合をつまらなくする要因

観戦を楽しむには、どのような試合がつまらないかを知っておく必要もあると考え、試合をつまらなくする要因として超守備的な試合や大味な試合について触れた。なお、「つまらない」という考えは主観的なものであり、普遍的に誰にでもつまらないわけではないことも注釈として加えた。

■観戦時の感染拡大防止について

2020年度には、新型コロナウイルス感染拡大をうけ、観戦時の感染拡大防止についての考え方も整理した。もともとは、チームの練習方針を決めるためにプレー中における感染リスクの大きさを評価していたが、その結果として、プレー中よりも観戦時の感染リスクの大きさについて気をつける必要があることがわかり「観戦のポイント」にも追記した。具体的には2019年度のつくば大会U9決勝の試合動画から、「密」状態のできる場面を目視で抽出し、その出現傾向(頻度や継続時間)から感染リスクの大きさを評価した。

■おわりに

この「スポーツ鬼ごっこ観戦ポイント」は、インターネットに公開しながら、随時、気づいた点の修正を行っている。より多くの観戦者の手助けになることを期待している。